単位と0：何をそろえて測るか

見本：cmとmmをつなぐ

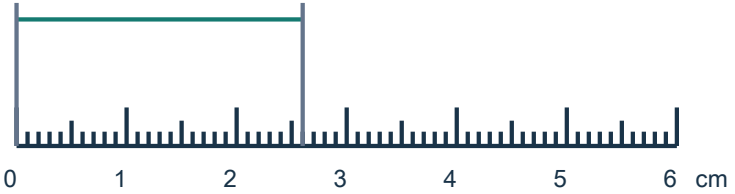
1cmの間には、同じ大きさの小さい目盛りが10こあります。

1cm=10mm。図の線は0から2cm6mmまでなので、26mmです。

数字だけでなく、単位と一つの目盛りを確かめます。

小さい目盛りをたどり、単位と対応させる

見本：0から始まる線



小さい1目盛りは1mm。図の大きさは実物のcmではありません。

実物のものさしで、0と板の端を見付ける

両端の間：0でない始まりもたしかめる

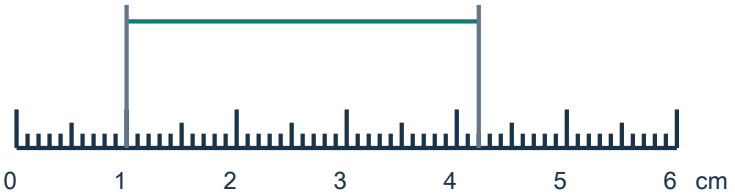
見本：終点だけでは長さにならない

図の線は1cmから4cm2mmまでです。

1cm=10mm、4cm2mm=42mm。間の長さは42−10=32mmです。

3cm2mmとも表せます。0から同じ長さを取り直す方法もあります。

見本：始まりと終わりの位置



小さい1目盛りは1mm。図の大きさは実物のcmではありません。

両端を囲み、間の長さを説明する

0から測り直すなら、どう置くか

C1〜C3：始まり· 終わり· 長さを区別する

C1. 左の図の線の長さを、何cm何mmか、また何mmかで表してください。読んだ目盛りを指して説明してください。

解答· 理由を書く

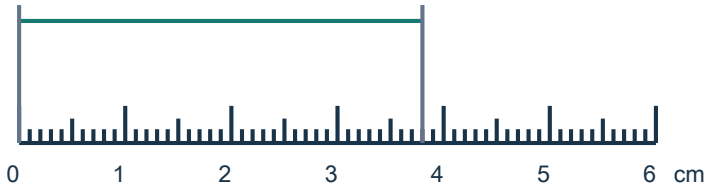
C2. 右の図の線は、どの目盛りからどの目盛りまでありますか。両端をmmで表し、間の長さを説明してください。

解答· 理由を書く

C3. 右の図について「終わりが52mmだから、線の長さも52mm」という説明を、図や式を使って確かめ、正しく直してください。

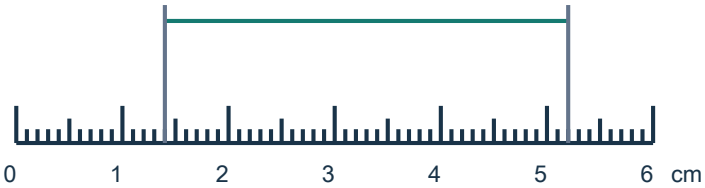
解答· 理由を書く

C1の目盛り：読む順を自分で決める



小さい1目盛りは1mm。図の大きさは実物のcmではありません。

C2· C3の目盛り：両端を指して説明する



小さい1目盛りは1mm。図の大きさは実物のcmではありません。

C4〜C6：実物で測り、測り方を見直す

C4. 実物のものさしで、紙に4cm7mmの線を引いてください。始まりと終わりを示し、別の向きからもう一度測って確かめてください。

解答・理由を書く

C5. 小さな紙片の辺を一つ選び、何cm何mmくらいか見当を付けてから測ってください。見当と実測を別に記録し、違ったところを説明してください。

解答・理由を書く

C6. 「ものさしの板の端に合わせれば、いつでも正しい」という説明を、手元のものさしで確かめてください。板の端と0の目盛りの位置を調べて話してください。

解答・理由を書く

実物を使う課題です

実物のものさし、紙と鉛筆を用意します。

先に見当を付け、測るときは0の目盛りを基準にします。

画面や印刷された模式図は、実際のcmの尺度には使いません。

見当・測った値・合わせた位置を記録する

C7〜C9：単位をそろえ、次にも使える確かめ方へ

C7. 紙片Aの長さは2cm8mm、紙片Bは31mmです。同じ単位や図を使い、どちらがどれだけ長いか説明してください。

解答・理由を書く

C8. 「1cmは100mm」という説明を、実物のものさしの小さい目盛りを使って確かめ、直してください。

解答・理由を書く

C9. 次に一人で測るときのために、単位、始まり、終わりについて自分の確かめる手順を作ってください。講師がその手順で一つの線を測り、伝わるかを一緒に確かめてください。

解答・理由を書く

二つの長さを、同じ単位や図で比べる

目盛りの意味と、自分の測る手順を残す